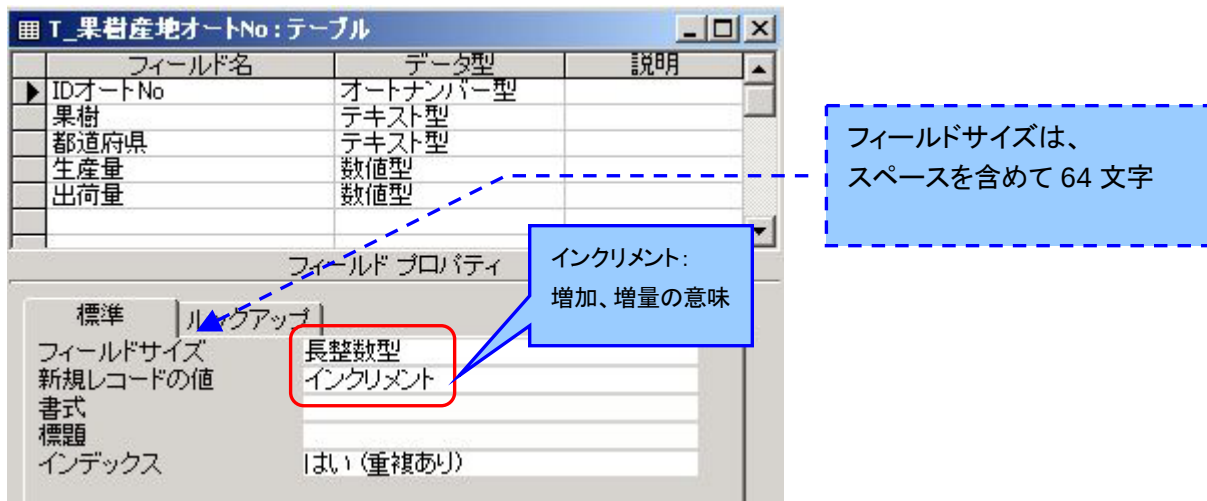


オートナンバー型フィールドについて

テーブルのフィールドでデータ型を「オートナンバー型」に設定すると、レコードを追加するときに自動的に番号が作成されます。**自動生成された番号は、削除や変更はできません。**



IDオートNo	果樹	都道府県	生産量	出荷量
1	りんご	青森県	488100	432700
2	西洋なし	山形県	19000	17000
3	かき	和歌山県	58500	52800
4			0	0
オートナンバー)			0	0

レコード: 5 / 5

テーブルからレコード削除で、「ID オート No」の「4」を削除して、新たにレコードを追加すると



強制的に「ID オート No」を削除や変更をしようとすると、ステータスバーに次のメッセージが表示されます。

このコントロールはオートナンバー型の 'IDオートNo' フィールドに連結しているため、編集できません。

また、「ルックアップ」の設定はできません。

オートナンバー型ーレプリケーション ID 型

■ T_果樹産地オートNo_レプリカ:テーブル

フィールド名	データ型	説明
IDオートNo	オートナンバー型	
果樹	テキスト型	
都道府県	テキスト型	
生産量	数値型	
出荷量	数値型	

フィールド プロパティ

標準 | ルックアップ |

フィールドサイズ: レプリケーション ID型

書式:

タイトル: はい (重複あり)

インデックス:

■ T_果樹産地オートNo_レプリカ:テーブル

IDオートNo	果樹	都道府県	生産量	出荷量
{00000001-0000-0000-0000-000000000000}	りんご	青森県	488100	432700
{00000002-0000-0000-0000-000000000000}	西洋なし	山形県	19000	17000
{00000003-0000-0000-0000-000000000000}	かき	和歌山県	58500	52800
{00000004-0000-0000-0000-000000000000}			0	0
【オートナンバー】				
			0	0

レコード: 5 / 5

レプリケーション Replication:複製 →レプリカ Replica:複写、複製品

Microsoft® SQL Server™ 2000 のレプリケーションは、あるデータベースから別のデータベースへデータおよびデータベース オブジェクトをコピーおよび配布し、一貫性を保つためにデータベース間で同期をとる技術のセットです。(from Microsoft ホームページ)

オートナンバー型ーランダム

■ T_果樹産地オートNo_ランダム:テーブル

フィールド名	データ型	説明
IDオートNo	オートナンバー型	
果樹	テキスト型	
都道府県	テキスト型	
生産量	数値型	
出荷量	数値型	

フィールド プロパティ

標準 | ルックアップ |

フィールドサイズ: 長整数型

新規レコードの値: ランダム

書式:

タイトル: はい (重複あり)

インデックス:

オートナンバー型で新規レコードの値を「ランダム」に設定すると、ナンバーがランダム(乱数)で取得・表示されます。レコードは、昇順(小さい値)に並び替えされます。

■ T_果樹産地オートNo_ランダム:テーブル

IDオートNo	果樹	都道府県
1085684520	日本なし	
458021513	もも	
2108765590	かき	
【オートナンバー】		

レコード: 4 / 4